



2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月28日

上場会社名 株式会社CEホールディングス 上場取引所 東 札
 コード番号 4320 URL https://www.ce-hd.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 惠昭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当 (氏名) 田口 常仁 TEL 011 (861) 1600
 四半期報告書提出予定日 2021年5月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第2四半期の連結業績（2020年10月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	6,719	17.8	647	40.7	683	73.3	382	117.6
2020年9月期第2四半期	5,705	△3.2	460	△1.7	394	△15.3	176	△26.5

(注) 包括利益 2021年9月期第2四半期 462百万円 (109.0%) 2020年9月期第2四半期 221百万円 (△25.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	25.64	—
2020年9月期第2四半期	11.68	11.66

(注) 2021年9月期第2四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	9,568	5,196	50.3
2020年9月期	8,858	4,839	50.8

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 4,813百万円 2020年9月期 4,497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	6.80	6.80
2021年9月期	—	0.00	—	6.80	6.80
2021年9月期（予想）	—	—	—	6.80	6.80

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,140	14.5	755	38.0	710	56.8	380	212.9	25.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年9月期2Q	15,178,500株	2020年9月期	15,139,000株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	217,014株	2020年9月期	217,014株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年9月期2Q	14,936,744株	2020年9月期2Q	15,074,449株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料につきましては、この四半期決算短信の開示後、速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	8
3. その他	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナウイルス」という。）の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる状況が続いております。

このような中で、感染リスクと背中合わせの環境下、国民の生命や健康を支えている医療従事者及び医療機関の皆様には、敬意を表するとともに心より感謝申し上げます。

当社グループ（当社及び当社の関係会社）が事業を展開しております医療業界においては、2021年9月にデジタル庁が発足予定であることや、オンライン診療・服薬指導に関する初診の取扱いや対象疾患など恒久化に向けた検討がされる等、ICT[1]技術活用の促進等が求められております。引き続き、電子カルテシステム[2]を含む医療情報システムの普及はますます拡大していくものと考えております。

このような状況の中、当社グループの主力製品である電子カルテシステム「MI・RA・I s/AZ（ミライズ・エージー）」[3]の販売が好調に推移したことなどに加え、前第2四半期連結累計期間より連結対象に追加した株式会社マイクロン及びその子会社である株式会社エムフロンティア（以下「マイクロン」という。）の業績が加算されたことなどから、売上高につきましては前年同期比で増加しました。利益面におきましても、売上増に伴う売上総利益の増加等により、営業利益及び経常利益並びに親会社株主に帰属する四半期純利益もそれぞれ前年同期比で大幅に増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,719百万円（前年同期比17.8%増）、売上総利益は1,485百万円（前年同期比29.4%増）、営業利益は647百万円（前年同期比40.7%増）、経常利益は683百万円（前年同期比73.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は382百万円（前年同期比117.6%増）となりました。また、受注状況につきましては、受注高5,975百万円（前年同期比18.9%増）、受注残高4,009百万円（前年同期末比31.9%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

〔医療ソリューション事業〕

医療機関向けの自社パッケージ製品である電子カルテシステム「MI・RA・I sシリーズ」を中心に、電子カルテシステムと他社の医事会計システム等の部門システムを組み合わせ、主に中小病院向けに販売する他、医療情報システムの保守・運用等のサービスを提供しております。

また、主にNECグループからの委託により、地域中核病院を中心とした大病院向けの医事会計システム、電子カルテシステム、オーダーリングシステム、検査システム、輸血システム等の医療情報システムの開発を行っております。

加えて、2019年11月29日に連結子会社化したマイクロンにおいて、製薬会社・医療機器メーカー等からの医薬品・医療機器等の開発業務受託、医療用画像解析ソフトウェアの開発・販売を行い、前記事業とのシナジー創出に取り組んでおります。

当社グループの大半を占める医療ソリューション事業の経営成績につきましては、前記の状況により、受注高5,932百万円（前年同期比18.6%増）、受注残高4,005百万円（前年同期末比31.8%増）、売上高6,627百万円（前年同期比16.9%増）、セグメント利益653百万円（前年同期比35.0%増）となりました。

〔その他〕

ヘルスケア関連情報サイト「Mocosuku」の運営、他社Webサイトの構築・運用業務、及び公共及び商業施設向けデジタルサイネージシステムの販売等を行っております。その他、ヘルスケアコンテンツの執筆や監修、企業からの従業員に対する健康相談窓口業務の受託、健康保険組合からの特定保健指導業務の受託、コンタクトレンズなどの医療機器の顧客対応窓口業務の受託、企業内での健康や栄養に関する社員研修等を行っております。

その他の経営成績につきましては、受注高43百万円（前年同期比101.1%増）、受注残高4百万円（前年同期末比293.1%増）、売上高92百万円（前年同期比152.4%増）、セグメント利益0百万円（前年同期セグメント損失5百万円）となりました。

[1] ICT Information and Communication Technology（情報通信技術）の略。

[2] 電子カルテシステム 1999年4月22日に「真正性・見読性・保存性」の担保を条件として、厚生省（当時）が容認した紙カルテを電子的なシステムに置き換えたものを指す。当社グループの電子カルテシステムは、診療記録システム・オーダーリングシステム・看護支援システム等から構成されている。なお、オーダーリングシステムとは、医師が検査や投薬等の指示（オーダー）を入力し、オーダー受取者がこれに従って処理・処置を行うシステムをいう。

[3]MI・RA・I s/A Z 2017年8月より販売を開始した、電子カルテシステム「MI・RA・I sシリーズ」の最新バージョン。より使いやすくより診療に貢献できるシステムとなるよう、多くのユーザーとともに培った機能を拡充し、操作性の改善を行うとともに、クラウドユースを想定したシステム基盤の整備を図り、医療の安全性向上、業務効率向上、患者サービス向上等の実現に寄与する。医療機関が担う役割をICTの面から支援するため、導入された病院と、他の病院やかかりつけ医等の医療機関、介護、福祉等の施設や、在宅にて治療を進める患者や家族等、ヘルスケア分野全領域（All Zone）との連携を進めることを目標としている。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は6,384百万円となり、前連結会計年度末に比べ762百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が327百万円、仕掛品が99百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が1,126百万円増加したことによるものであります。固定資産は3,184百万円となり、前連結会計年度末に比べ52百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が21百万円、無形固定資産が31百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は9,568百万円となり、前連結会計年度末に比べ710百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は3,038百万円となり、前連結会計年度末に比べ610百万円増加いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が63百万円減少したものの、買掛金が339百万円、未払法人税等が228百万円、その他の流動負債が74百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,332百万円となり、前連結会計年度末に比べ257百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が286百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,371百万円となり、前連結会計年度末に比べ352百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は5,196百万円となり、前連結会計年度末に比べ357百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益382百万円の計上及び剰余金の配当101百万円などにより利益剰余金が281百万円、非支配株主持分が41百万円増加したことなどによるものです。

この結果、自己資本比率は50.3%（前連結会計年度末は50.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、医療ソリューション事業を中心に、販売面の強化、顧客満足度向上、製品の品質向上と機能強化、及び利益率の改善に取り組んでまいります。

ICTを活用したヘルスケア関連サービスや、医療介護連携構築のための情報共有基盤の整備を進めるべく、今後も業務提携などを通じた当該サービス拡大への取り組みを積極的に推進してまいりたいと考えております。

当社グループの主たる事業は電子カルテシステムを中心とした医療情報システムの開発・販売であり、新型コロナウイルスの感染拡大については、大きな関心をもって事態の推移を注視しております。今後以下のような事象が発生した場合、連結業績に影響を与える可能性があります（例示であり、これに限るものではありません）。

- ・医療情報システムを受注した病院において、新型コロナウイルスの対策として病院関係者以外の施設内への立ち入り制限が行われる、あるいは、病院内での感染発生や当社グループもしくは販売パートナーの担当社員等が感染した場合、導入作業が中断し、納品が遅れることにより、売上計上が遅延する。
- ・医療機関が新型コロナウイルスの対策を優先することにより、当社グループまたは販売パートナーにおける営業活動が長期停滞した場合、受注状況が悪化する。
- ・支援を受注した医薬品等の臨床開発プロジェクトにおいて、予定された症例数（データ）を集められず、プロジェクトの進捗が遅延し、売上計上が延期する。

2021年9月期の連結業績見通しにつきましては、第3四半期以降における新型コロナウイルスの影響の範囲が不透明であり、受注・売上見込み等については現時点で未確定の部分があることから、2020年11月9日発表の「2020年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,813,207	2,485,309
受取手形及び売掛金	2,231,585	3,358,424
商品及び製品	2,673	3,173
仕掛品	384,926	285,608
原材料及び貯蔵品	1,840	1,440
その他	200,527	250,957
貸倒引当金	△13,003	△660
流動資産合計	5,621,757	6,384,254
固定資産		
有形固定資産	594,055	572,915
無形固定資産		
のれん	189,083	177,782
その他	498,962	478,644
無形固定資産合計	688,045	656,426
投資その他の資産		
関係会社株式	956,664	954,397
その他	1,033,825	1,028,628
貸倒引当金	△36,260	△28,160
投資その他の資産合計	1,954,230	1,954,866
固定資産合計	3,236,332	3,184,209
資産合計	8,858,089	9,568,463
負債の部		
流動負債		
買掛金	916,310	1,255,913
1年内償還予定の社債	34,000	37,000
1年内返済予定の長期借入金	697,879	634,427
未払法人税等	9,105	237,740
賞与引当金	205,093	233,730
その他	565,967	640,179
流動負債合計	2,428,357	3,038,990
固定負債		
社債	30,000	10,000
長期借入金	1,336,036	1,049,942
退職給付に係る負債	176,365	184,400
その他	48,008	88,413
固定負債合計	1,590,410	1,332,755
負債合計	4,018,767	4,371,746
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,165,415	1,175,942
資本剰余金	1,191,267	1,201,794
利益剰余金	2,231,984	2,513,428
自己株式	△100,410	△100,410
株主資本合計	4,488,257	4,790,754
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,283	22,285
その他の包括利益累計額合計	9,283	22,285
非支配株主持分	341,781	383,677
純資産合計	4,839,322	5,196,717
負債純資産合計	8,858,089	9,568,463

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	5,705,864	6,719,949
売上原価	4,557,543	5,234,137
売上総利益	1,148,320	1,485,811
販売費及び一般管理費	688,241	838,492
営業利益	460,079	647,319
営業外収益		
受取利息	34	25
受取配当金	1,585	1,215
投資事業組合運用益	890	31,173
保険解約返戻金	6,961	1,453
その他	3,359	9,774
営業外収益合計	12,831	43,641
営業外費用		
支払利息	4,164	5,077
持分法による投資損失	71,927	2,266
その他	2,391	—
営業外費用合計	78,483	7,344
経常利益	394,427	683,617
特別利益		
投資有価証券償還益	120	120
新株予約権戻入益	159	—
特別利益合計	279	120
特別損失		
持分変動損失	773	—
投資有価証券評価損	10,669	—
特別損失合計	11,442	—
税金等調整前四半期純利益	383,263	683,737
法人税、住民税及び事業税	147,129	245,259
法人税等調整額	15,418	△10,832
法人税等合計	162,548	234,427
四半期純利益	220,715	449,309
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	176,010	382,913
非支配株主に帰属する四半期純利益	44,704	66,396
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	485	13,001
その他の包括利益合計	485	13,001
四半期包括利益	221,201	462,310
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	176,496	395,914
非支配株主に係る四半期包括利益	44,704	66,396

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	383,263	683,737
減価償却費	140,794	159,258
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9,875	△20,443
のれん償却額	13,076	11,301
受取利息及び受取配当金	△1,619	△1,240
支払利息	4,164	5,077
持分法による投資損益 (△は益)	71,927	2,266
売上債権の増減額 (△は増加)	238,911	△1,110,639
たな卸資産の増減額 (△は増加)	107,351	99,218
仕入債務の増減額 (△は減少)	△336,009	339,602
その他	△25,100	81,928
小計	586,883	250,067
利息及び配当金の受取額	20,093	1,234
利息の支払額	△4,164	△5,077
法人税等の還付額	17,212	54,701
法人税等の支払額	△312,660	△43,934
営業活動によるキャッシュ・フロー	307,365	256,990
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△42,594	△58,963
無形固定資産の取得による支出	△93,873	△108,996
投資有価証券の取得による支出	—	△12,968
投資有価証券の売却による収入	9,414	22,162
投資事業組合からの分配による収入	9,707	44,805
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	229,168	—
その他	△2,580	1,426
投資活動によるキャッシュ・フロー	109,243	△112,534
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	450,000	—
長期借入金の返済による支出	△294,081	△349,546
自己株式の取得による支出	△99,969	—
リース債務の返済による支出	△194	△633
非支配株主への配当金の支払額	△39,200	△24,500
配当金の支払額	△102,164	△101,728
社債の償還による支出	△45,600	△17,000
株式の発行による収入	14,973	21,053
財務活動によるキャッシュ・フロー	△116,236	△472,354
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	300,372	△327,898
現金及び現金同等物の期首残高	1,390,650	2,808,780
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,691,022	2,480,881

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積りにおいて、前事業年度の有価証券報告書の「第5 経理の状況 1 連結財務諸表等 (1) 連結財務諸表 注記事項 (追加情報) (会計上の見積り)」に記載いたしました仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 3
	医療ソリューション事業				
売上高					
外部顧客への売上高	5,669,109	36,755	5,705,864	—	5,705,864
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,669,109	36,755	5,705,864	—	5,705,864
セグメント利益又は損失(△)	483,778	△5,827	477,951	△17,871	460,079

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ヘルスケア関連情報サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△17,871千円は、セグメント間取引消去100,143千円及び報告セグメントに帰属しない一般管理費△118,014千円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

のれんの金額につき、重要な変動はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 3
	医療ソリューション事業				
売上高					
外部顧客への売上高	6,627,172	92,776	6,719,949	—	6,719,949
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,627,172	92,776	6,719,949	—	6,719,949
セグメント利益	653,332	407	653,740	△6,420	647,319

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ヘルスケア関連情報サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△6,420千円は、セグメント間取引消去108,619千円及び報告セグメントに帰属しない一般管理費△115,040千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

のれんの金額につき、重要な変動はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

生産、受注及び販売の実績

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)	前年同期比(%)
医療ソリューション事業(千円)	5,112,453	116.6
その他(千円)	13,888	140.6
合計(千円)	5,126,341	116.6

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 生産実績は当期総製造費用で表示しております。
 3 セグメント間の取引については相殺消去しております。

(2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期末比(%)
医療ソリューション事業	5,932,312	118.6	4,005,202	131.8
その他	43,078	201.1	4,682	393.1
合計	5,975,391	118.9	4,009,885	131.9

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 セグメント間の取引については相殺消去しております。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)	前年同期比(%)
医療ソリューション事業(千円)	6,627,172	116.9
その他(千円)	92,776	252.4
合計(千円)	6,719,949	117.8

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 セグメント間の取引については相殺消去しております。
 3 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、当第2四半期連結累計期間において、総販売実績の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。